

教員養成セミナー 3月号
動画講義

12カ月完成
教職・一般教養トレーニング
合格PASSPORT

◆第6回◆教育心理
性格と不適応・心理療法

講師：古川 聡

性格と不適応の領域に関して

性格に関する問題の中で出題頻度が高い事項や人物は、

- ・ 類型論、中でもクレッチマー

性格検査に関する問題の中で出題頻度が高い事項や人物は、

- ・ 正式名称、略称、考案者、検査内容を結びつけること

欲求に関する問題の中で出題頻度が高い事項や人物は、

- ・ マズローの階層構造説

不適応に関する問題の中で出題頻度が高い事項や人物は、

- ・ 多様な防衛機制

問題例 1

性格の理論と提唱者（長崎県 2022年度）

性格理論は、提唱者、具体的な内容をむすびつけておくことが必要です。問題例のキーワードをみると、

- ・ 躁うつ病は肥満型の人、
- ・ 人間の体格と性格、
- ・ 分裂質、躁うつ質、粘着質に類型化

これでクレッチマーの類型論に限定されます。

類型論と特性論

類型論：典型的な型に当てはめる「あの人、きっと〇〇型よ」

クレッチマー・・・精神疾患と体型の関係から3つに類型化

シェルドン・・・成人の体型と性格から3つに類型化

ユング・・・・・・・・リビドーの向かう方向から2つに類型化

シュプランガー・・・価値観をもとに6つに類型化

特性論：特徴の集合として捉える「〇〇や△△な面があるよ」

ギルフォード、アイゼンク、キャッテルらが因子分析法を元に
特性を抽出

問題例2 性格検査（岩手県 2022年度）

問題文ごとのキーワードを探してみると、

- | | |
|--------------------|--------------|
| (1)12の性格特性、質問紙法 | → YG性格検査 |
| (2)欲求不満場面、投影法 | → PFスタディ |
| (3)2つの数字、加算、作業法 | → クレペリン検査 |
| (4)左右対称、インクのしみ、投影法 | → ロールシャッハテスト |
| (5)550の質問 | → MMPI |

質問紙法性格検査

検査名	考案者	特徴
矢田部ギルフォード (YG) 性格検査	矢田部達郎	12個の性格特性の強弱を 120個の文章で診断
ミネソタ多面人格目録 (MMPI)	ハサウェイ	550個の文を元に性格の異 常性を明らかにする
モーズレイ性格検査 (MPI)	アイゼンク	神経症傾向と外向性の2次 元で診断する
16性格特性検査 (16PF)	キャッテル	16個の特性の強弱を診断
エゴグラム	デュセイ	自我状態を診断
エドワーズ欲求検査 (EPPS)	エドワーズ	一対比較法を用いて欲求の 強弱を分析

投影法性格検査

検査名	考案者	特徴
ロールシャッハテスト	ロール シャッハ	左右対称のインクのしみの見え方を問う
主題構成検査・主題統覚検査（TAT）	マレー	絵を見て過去から未来に渡る空想物語を語らせる
絵画欲求不満検査（PFスタディ）	ローゼンツ ヴァイク	欲求不満場面で自分なら何と発言するかを回答
バウムテスト	コッホ	実のなる木を描く
家と木と人（HTP）テスト	バック	家と木と人の3つを描く
文章完成法検査（SCT）	エビングハ ウス	書きかけの文章に言葉を補って完成させる

問題例3

ソシオメトリック・テスト

(神奈川県 2020年度)

ソシオメトリック・テストとゲス・フー・テストの相違が理解できているかどうかポイント

(1)ソシオメトリック・テスト

選択と排斥の関係を明らかにできる

ソシオグラムで視覚的、ソシオマトリックスで数量的に把握

(2)ゲス・フー・テスト

具体的な人物像に合致する人を答える

性格特性や行動特性の他者評価を知ることができる

問題例 4

マズローの欲求の階層構造説

(和歌山県 2020年度)

階層構造説

自己実現の欲求

自尊の欲求

所属と愛情の欲求

安全の欲求

生理的欲求

問題例 5

防衛機制（大阪府 2021年度）

問題文が多様な表現になるのが防衛機制の答えにくいところ。不得意な人は全国の過去問を解いて、実践的な練習が効果的です。

判断に重要なキーワードは、

- | | | | |
|---|------------------------|---|-----|
| A | 自己の感情を・・・他者が持っているかのように | → | 投射 |
| B | もっともらしい理由・・・自己を正当化 | → | 合理化 |
| C | 弱点をカバー・・・望ましい特性を強調 | → | 補償 |
| D | より若い発達段階 | → | 退行 |

代表的な防衛機制

名称	現れ方
反動形成	本来の気持ちとは正反対の行動にでる
合理化	もっともらしい理由をつけて自己を正当化する
退行	よみ未熟な発達段階に後戻りしたような行動をする
投射	自分の本心を他者の気持ちだと転嫁してしまう
置き換え	不満をぶつける相手を本来とは違う弱い存在に向ける
補償	劣った面を隠して得意な面を過剰に強調する
代償	達成が容易な目標にすり替える

問題例 6 不適応行動（山口県 2022年度）

幼少期に起こりやすいもの、思春期に起こりやすいもの、青年期以降に起こりやすいものに分けると、全体が整理できるので覚えやすいです。そして、年齢に関係なく起こるのが心的外傷後ストレス障害（PTSD）です。

問題文を見ると、死にそうなできごと、再体験症状、回避症状、過覚醒症状という言葉があります。これらはPTSDのキーワードですから、正解はその正式名称である「心的外傷後ストレス障害」になります。